

答え合わせ・解説

問1	答え 3 平城京	710年に奈良につくられた都は平城京です。中国の唐の都である長安を手本にして造営されました。
問2	答え 3 仏教の力によって国家を護り、疫病や社会の混乱を鎮めようとした。	当時の日本は疫病の流行や政情不安に直面しており、聖武天皇は仏教の教えによって国を平和に導こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、大仏造営などの大規模な事業を行いました。これは単なる個人の信仰ではなく、国家的な危機の克服を目的とした政策でした。
問3	答え 2 国司	律令国家では、全国を国・郡・里（郷）の単位に分け、中央集権的な統治を行いました。このうち「国」の行政・司法・徴税を担うために都から派遣された官吏を国司と呼びます。地元の豪族が任命された「郡司」とは、中央からの派遣か、現地の有力者かという点で明確な違いがあります。
問4	答え 1 班田収授法	律令国家は「公地公民」の原則を掲げ、土地と人民を国家が直接支配することを目指しました。そのために戸籍を作成して国民一人ひとりを把握し、それに基づいて一定の田地を貸し与える仕組みを整えました。この制度によって与えられた土地は、本人の死後に国へ返還することが定められていました。
問5	答え 3 墾田永年私財法	人口増加により公地公民制に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。723年の三世一身の法では期限付きの所有しか認められず、意欲が続かないという課題があったため、743年に「永久私有」を認める墾田永年私財法が制定されました。これにより、有力な貴族や寺社による大規模な土地所有が進み、公地公民の原則が崩れるきっかけとなりました。
問6	答え 2 遣唐使を通じて、唐の文化だけでなくインドやペルシアなどの文化が流入したため	当時の唐は世界的な帝国であり、都の長安には西アジアや中央アジアの文化が集まっていました。日本から派遣された遣唐使や留学生たちがこれらを吸収し、日本へ持ち帰ったことで、正倉院の宝物や仏像彫刻に国際的な影響が見られる天平文化が形作られました。
問7	答え 2 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。	平城京が営まれた奈良時代は、遣唐使を通じて唐の進んだ政治制度や国際色豊かな文化が積極的に取り入れられた時期です。都には大極殿などの官庁施設のほか、東大寺をはじめとする大規模な寺院が建立され、律令国家の威信を示す場となりました。中国の都市とは異なり、都市全体を囲むような強固な城壁（郭城）は日本では発達しませんでした。
問8	答え 2 大陸との外交や防衛の拠点としての役割	太宰府は現在の福岡県に置かれた地方行政機関です。大陸に近いという地理的特性から、唐や新羅などの使節を迎え入れる外交の窓口としての機能と、外国からの侵攻に備える国防の要石としての機能を兼ね備えていました。東北地方の拠点は鎮守府、朝廷の監視は六波羅探題などが担っており、太宰府とは設置された地域や目的が異なります。
問9	答え 3 各地域の地名の由来や特産物、地理的な特徴や伝承を報告させ、地方支配に役立てるため	風土記の編纂は、単なる地理情報の収集にとどまらず、朝廷が全国の諸国をどの程度把握し、管理できているかを確認するための重要な国家的事業でした。現在では『出雲国風土記』がほぼ完全な形で残っているほか、播磨、肥前、常陸、豊後の数力国の記録が一部伝わっており、当時の地方社会を知る貴重な史料となっています。
問10	答え 2 遣唐使	大宝律令によって律令国家としての形が整えられた時期、日本は中国の「唐」の優れた統治システムや仏教文化を直接学ぶために使節を派遣しました。これが遣唐使であり、持ち帰られた知識は平城京の建設や政治組織の構築に大きく貢献しました。遣唐使はそれ以前の「隋」に送られたものであり、朝鮮通信使は江戸時代のもんです。
問11	答え 4 調	律令制度における中心的な税の一つです。米を納める「租」は地方の倉庫に保管されましたが、「調」は絹や布、塩、魚介類といった各地の特産物を都まで運ぶ必要がありました。この際、都までの食料や運搬の費用は納税者が負担したため、庶民にとって非常に重い負担となりました。
問12	答え 4 遣唐使を通じて、シルクロードを経由した西方の文化も伝わった国際的な文化	当時の唐の都である長安は国際都市であり、シルクロードを通じて西アジアやインドの文化が集まっていました。遣唐使がそれらを日本に持ち帰ったため、奈良時代の文化は日本にとどまらない国際的な広がりを持つことになりました。正倉院は「シルクロードの終着点」とも称されます。
問13	答え 2 仏教の力で社会の不安を取り除き、国家の安定を図るため	聖武天皇の治世は、疫病の蔓延や深刻な凶作、さらに貴族間の対立による反乱が重なった時期でした。こうした困難な状況に対し、単なる政治的解決だけでなく、宗教的な権威を活用して人々の心を安定させ、国の混乱を鎮めようとする「鎮護国家」の考え方が採用されました。東大寺は全国の国分寺の中心としての役割を担い、大仏はその象徴として造営されました。
問14	答え 3 モデル：長安、制度：条坊制	奈良に築かれた平城京は、当時の唐の都であった長安を模範として設計されました。都市の内部は「条坊制」と呼ばれる制度に基づき、南北・東西に走る道路によって碁盤の目状に整然と区画されていたのが特徴です。班田収授法は土地と人民を国家が管理する制度であり、都市の区画制度を指すものではありません。